

平泉文化セミナー第78回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回は、平泉文化セミナー第78回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演題

衣河関、衣関の立地

—函谷関との比較から

岩手大学平泉文化研究センター教授

廣瀬 薫雄

要 旨：

本セミナーでは、衣河関・衣関をめぐる諸説を整理し、そこに存在する問題点を示したうえで、衣河関・衣関の位置についてみずからの見解を示す。

『陸奥話記』は、衣河関を評して「件の關は素より隘路嶮岨なること、嶠函の固きに過ぐ。一人嶮に拒げば、萬夫も進むこと能わず」という。そこで、衣河関の比較材料として函谷関の遺跡を紹介し、険しい地形をいかに用いることによって堅牢な関所を築くことができるかを解説する。関所の立地条件を知ったうえで『陸奥話記』の衣河関に関する記述を読みなおし、関山・衣川・当時の幹線道路たる奥大道の位置関係を考えれば、衣河関・衣関がどのあたりに設けられていたかはおのずと明らかになるだろう。

令和6年11月23日（土・祝）13：30～15：00

岩手大学教育学部1号館2階 E21 講義室

※会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。

※Zoom参加を希望されるかたは、11月19日（火）までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。（ただし、視聴のみとなります。）

- ・会場参加者はマスクをご着用されることをお勧めします。
- ・体温が37.5度以上の場合は入場をお断りする場合があります。

【連絡先】

〒020-8550

岩手大学平泉文化研究センター事務局

盛岡市上田三丁目18-33

Fax 019-621-6529

E-mail yoshisat@iwate-u.ac.jp